

伊達市パブリック・コメント制度実施結果報告書

令和4年11月16日

案件名	伊達市第3次総合計画（案）		
公表日	令和4年9月30日		
募集期間	令和4年9月30日～令和4年10月17日		
担当部・課名	未来政策部総合政策課		
実施結果	提出方法	提出者数	意見数
	持参	0	0
	郵便	0	0
	ファクシミリ	0	0
	電子メール	1	7

■提出された意見とそれに対する市の考え方

No.	項目等	提出された意見等の概要	市の考え方	計画等への対応
1	全体	総論と基本構想の2部構成となっているが、総論にある表のボリュームが、基本構想に比し圧倒的に多い。これを、総論、基本構想及び参考資料の3部構成とし、全体的にバランスをとるべきではないか。	本計画は、「市民目線に立った、シンプルでわかりやすい、読んでわかる計画」として策定しており、総論から導き出された基本構想となるよう、一体的に構成させていただきました。 総論では、本市概況や、活かすべき特性を整理し、これらをのばす視点で、社会環境の変化や市民ニーズを踏まえ、市発展への主要課題をとりまとめています。 基本構想では、これらに基づきすべての分野で基本とするまちづくりの将来像を掲げ、その実現のため、分野ごとの柱となる6つの基本目標と33の施策項目を設定しました。	現案のとおりとします。
2	目次 1章 計画の策定にあたって 2 なぜ計画をつくるのか	1－1及び1－3～5との整合性をとるため、1－2「なぜ計画をつくるのか」を、「計画策定の目的」に変更してはどうか。	ご指摘のとおり、整合性を図るため、修正します。	目次 総論 第1章 計画の策定にあたって 「2 なぜ計画をつくるのか」を、 「2 計画策定の目的」に修正します。
3	総論 P2 2 なぜ計画をつくるのか	下から2行目の「～新たな視点と発想を加え、」の後に「アップデートし、」を追記してはどうか。	本計画は、「市民目線に立った、シンプルでわかりやすい、読んでわかる計画」として策定しました。計画の構成はもとより、タイトルや文章自体についても、市民に親しみやすい表現を心がけるとともに、横文字や専門用語をできるだけ少なくしております。	現案のとおりとします。
4	総論 P6 (2)市の歩み	最下段の「全線開通するなど、」を「全線開通したことにより、全国高速大動脈網に組入れられるなど、」としてはどうか。	本計画は、「市民目線に立った、シンプルでわかりやすい、読んでわかる計画」として策定しました。計画の構成はもとより、タイトルや文章自体についても、市民に親しみやすい表現を心がけるとともに、専門用語をできるだけ少なくしております。	現案のとおりとします。
5	総論 P6 (2)市の歩み	インフラの注釈について、一般的にインフラとして呼称する場合には「電気、電話網、通信網」ではなく、「電気通信」と記載してもよいのではないか。	通信網の意味には、相互間通信として、電話網も含まれますが、文章中の注釈部分であることから、より分かりやすく説明するため、例示しております。	現案のとおりとします。
6	総論 P15 2 活かすべき特性 (1)市全体の特性 ⑦未来への基盤づくりが進む発展可能性の高いまち	「大規模な住宅地」の記載について、「Up DATE City Fukushima」と具体的な場所を知らせるべきではないか。	ご指摘を踏まえ、具体的な場所についてご承知いただけるよう、地名を追記します。 また、同項目の新たな工業団地や、大型商業施設の記載についても同様に対応します。	⑦未来への基盤づくりが進む 発展可能性の高いまち 4行目 同年6月に高子地区で、大規模な住宅地の造成 5行目 保原地域での新たな工業団地の造成 8行目 令和6年度には堂ノ内地区において、大型商業施設の開業に修正します。
7	総論 P38 1 計画の体系 (4)活力にぎわいあふれる産業のまち	新しい産業道路となった東北中央道の有効活用を強調するため、「商工業の振興を図るほか、観光客～」の記載を、「商工業の振興を図り、東北中央道（相馬市～伊達市間）沿道の自治体間との産業の連携を行い、又、観光客～」としてはどうか。	東北中央道（相馬福島道路）の全線開通は、産業分野のみならず、市のあらゆる分野に好影響を及ぼすと考えております。したがって、基本構想においては、P12からの「市の特性」として整理しております。 なお、東北中央道（相馬福島道路）を有効活用した周辺自治体との連携については、基本計画への記載を検討します。	現案のとおりとします。